

患者さんへ

## 臨床研究「食欲不振の改善を目的とした漢方薬の使用実態調査」について

筑波大学附属病院薬剤部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

食欲不振は不規則な生活習慣、ストレス、疲労、消化器疾患を含む様々な病気、薬の副作用、高齢化に伴う体の生理的な働きの低下などの要因によって引き起こされる症状です。この治療には、胃の動きをよくしたり、胃酸が出すぎるのを防いだりする薬（西洋薬）が使われますが、西洋薬だけでなく漢方薬を使う場合もあります。例えば、治りにくい逆流性食道炎や抗がん剤治療に伴う食欲不振に対して六君子湯という漢方薬を使用し、効果があったという報告があります。六君子湯以外の漢方薬についても、食欲不振に効果があるという報告が増えつつあります。このように、「食欲不振に漢方薬が効く」という情報が増えてくると、病院で医師が漢方薬を処方する頻度も増えると予想されますが、「実際にどれくらいの患者さんに対してどのような漢方薬が使われており、その効果や副作用はどうか」という情報はあまりありません。そこで本研究では、食欲不振に対して使用された漢方薬の情報（漢方薬名や投与量など）と使用した患者さんの情報（年齢や一緒に使った薬など）の実態を調査します。

### ② 対象となる患者さん

2015年1月1日から2023年3月31日までに人参養栄湯、六君子湯、補中益気湯、半夏瀉心湯、十全大補湯を処方された患者さんを対象としています。

### ③ 研究期間

倫理審査委員会承認後から2024年3月31日までです。

### ④ 研究の方法・取り扱うデータ

診療録（カルテ）より、漢方薬の処方情報（処方件数、処方診療科、処方日数、用法・用量）と、処方された患者の情報を調査します。患者の情報には、年齢、性別、身長、体重、病名、既往歴、漢方薬の処方目的、漢方薬の効果・副作用、併用薬剤、併用薬剤の用法・用量、検査データを含みます。また、各漢方薬の使用実態を比べて、漢方薬毎の特徴を調べます。

⑤ 個人情報保護の方法

患者さんのデータは、第三者が患者さんを特定できないように、登録番号を用いて行います。調査が中止・終了した場合、収集したデータは10年間保管した後に消去します。

また、この研究から得られた結果は学会や専門雑誌で発表する予定ですが、いずれの場合も患者さんの氏名、生年月日、住所など個人を特定できる情報は一切公表せず、プライバシーは十分に守られます。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

本間 真人(筑波大学医学医療系臨床医学領域臨床薬剤学 教授)

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

ご自身が研究の対象であるかを確認されたい場合は、下記【問い合わせ窓口】までご連絡ください。患者さんが本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合も、下記の問い合わせ先へご連絡下さい。既に研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院: 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名: 薬剤部・担当 長崎 茜

電話:029-896-7165(薬剤部調剤室、平日 8:30~17:00)